

県の施策に関する県民意識調査

岩手県が実施する「県の施策に関する県民意識調査」は、県民の皆様が、身の回りの暮らしの事柄について、どの程度重要だと感じ、どの程度満足しているかなどについての御意見を伺うものです。

県では、県民の皆様御意見を取り入れながら、次の施策を展開していきたいと考えておりますので、調査への御協力をお願いいたします。

また、同封の返信用封筒に記載の整理番号は、**回答数が少なく調査の信頼性を確保できない場合に、未回答の方に改めて調査への御協力をお願いする場合等に使用する**もので、回答者個人の回答内容を把握する趣旨のものではありません。

なお、この調査の結果につきましては、本年5月頃に公表する予定としており、岩手県調査統計課のホームページで御覧になれます。

「いわての統計情報～イーハトーブ・データ館～」

<http://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html>

お 願 い

◆ このアンケート調査には、調査票をお送りした封筒に書かれた**あて名の御本人様**がお答えください（ただし、御本人様が長期不在などでお答えできない御事情がある場合には、御本人様に代わって、御家族の方などが御自身の立場でお答えください）。

◆ この調査は、無記名でお願います。回答はすべて統計的に処理され、調査票は、集計後、焼却します。秘密の保護には万全を期していますので、**ありのままをお答えください。**

◆ お答えは、できる限り黒または青色の鉛筆・ペン・ボールペンでお願います。

◆ お答えは、直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**2月2日（月）**までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。

※ この調査について、御不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

岩手県政策地域情報調査統計課 調査分析担当 吉田
TEL 019-628-5307（直通）
FAX 019-628-5309
E-mail stat@pref.iwate.jp

1 調査の目的

岩手県では、「岩手県東日本大震災津波復興計画（※）」を策定し、東日本大震災津波からの復旧・復興への取組を進めるとともに、これと軌を一にしながら、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を描いた「**いわて県民計画**」に掲げる「希望輝いわて」の実現に向けて、計画を推進しています。

この調査は、「**いわて県民計画**」に掲げる「岩手の未来をつくる7つの政策」を推進していくために、**県民の皆様御意見を**お伺いし、**次の施策に生かしていく**ために行うものです。

「いわて県民計画」 岩手の未来をつくる7つの政策

- (1) 産業・雇用 ～「産業創造県いわて」の実現～
- (2) 農林水産業 ～「食と緑の創造県いわて」の実現～
- (3) 医療・子育て・福祉 ～「共に生きるいわて」の実現～
- (4) 安全・安心 ～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- (5) 教育・文化 ～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- (6) 環境 ～「環境王国いわて」の実現～
- (7) 社会資本・公共交通・情報基盤 ～「いわてを支える基盤」の実現～

※ 「岩手県東日本大震災津波復興計画」

東日本大震災津波からの復旧・復興への取組を進めるため、平成23年9月に策定した計画。沿岸地域をはじめとした岩手県全体が、東日本大震災津波を乗り越えて力強く復興するための地域の未来の設計図として、復興に向けての目指す姿や原則、まちづくりのランドデザイン、具体的取組の内容、復興への歩み等を明らかにしたもの。

2 調査結果の活用方法

県では、平成18年度から**政策評価**を本格導入し、県の仕事が目標に向かってうまく機能しているかどうかをチェックし、その結果を次の施策に反映していくことにしています。

今回の**調査結果は、県民の皆様により満足していただけるサービスを提供していくための重要な情報**として、**政策評価や施策の立案などに活用**することとしています。

3 調査の構成と記入の方法

(1) 1ページから2ページまでは、調査についての説明です。

3ページから22ページまでは、質問になっています。

(2) 質問は、問1～問5まであります（問2から問5までは、さらにいくつかの小問に分かれています）。

(3) 回答は、あらかじめ設けている**選択肢の裏**に**数字を印刷**をつけてください（この調査票の所定の欄に直接印刷ください）。

(4) 回答は、全ての項目についてお願いたします。

記入例

ここでは、問2（P4～14）の場合を例示しています。

問2 ①が、1ページで御覧になりました「7つの政策」に関連する次の1から48までの調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお願します。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。

「あなたの重要度」では、**あなたの現在の暮らしによって**、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。

「あなたの満足度」では、**あなたの現在の暮らしから見て**、調査項目の状態どれくらい満足しているかをお答えください。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	いささかも重要でない	あまり重要でない	重要ではない	ある満足できる状態に	やや満足できる状態にある	いささかも満足できない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0
20 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	0

※ 「あなたの重要度」の記入例
あなたの現在の暮らしによって、「19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること」という状態を実現することが、どれくらい重要かをお答えいただくものです。
この例では、「重要ではない」と思う場合を例示していますので、数字の「1」に○をつけます。

※ 「あなたの満足度」の記入例
あなたの現在の暮らしから見て、「19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること」は、どれくらい満足できる状態にあるかをお答えいただくものです。
この例では、「やや不満足な状態にある」と思う場合を例示していますので、数字の「2」に○をつけます。

このページから調査票になります。

問1 まず最初に伺います。

あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

あなたの気持ちに最も近いものを1つだけ選り、その番号に○をつけてください。

あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
満足できる状態にある	やや満足できる状態にある	どちらともいえ	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
5	4	3	2	1	0

問2 次に、1ページで御覧になりました「7つの政策」に関連する次の1から46の調査項目について、「あなたの重要度」と「あなたの満足度」をお伺いします。あなたの身のまわりを見回してみて、あなたの考えに最も近いものをお答えください。
「あなたの重要度」では、あなたの現在の暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要であるかをお答えください。
「あなたの満足度」では、あなたの現在の暮らしから見て、調査項目の状態がどれくらい満足しているかをお答えください。

(1) まず、「産業・雇用」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	満足である状態にある	やや満足である状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
1 新しい工場や事業所ができ、県内経済が活性化していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
2 次の時代の地域の商業やサービス業、製造業などを担う人材が育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
3 地域の農林水産資源や技術を生かした加工食品や木製品が開発され、販売されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
4 魅力ある観光地づくりに、地域で取り組まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
5 身近な商店街が、住民に利用され、にぎわっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	満足である状態にある	やや満足である状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
6 中小企業が、人材や技術力、商品、サービスなどを強化して経営力の向上を図り、更に成長・発展していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
7 海外における県産品の販路の拡大が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
8 県内に職を求める人が希望どおりに就職できること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(2) 次に、「農林水産業」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	満足である状態にある	やや満足である状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
9 地域の農林水産業の担い手が確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
10 消費者ニーズに対応した農林水産物の産地が形成されること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
11 本県農林水産物がブランドとして確立され、販路が拡大していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
12 都市との交流などにより活力ある農山漁村が形成されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
13 地球温暖化防止や生態系の維持など環境に配慮した農林水産業が営まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(3) 次に、「医療・子育て・福祉」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						
	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	満足である状態にある	やや満足である状態にある	どちらともいえない	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない	
14 必要な医療を適切に受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
15 病気の予防や健康づくりを行うために、相談、指導を受けられること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
16 安心して子どもを生み育てられ、子育てがしやすい環境であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
17 高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(4) 次に、「安全・安心」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	やや重要でない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
18 地域の防災体制が、住民の協力により整っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
19 犯罪に対する不安が少ない地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
20 交通事故が少ない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
21 賃貸前法、開空請求、多重債務などの消費者トラブルについて、適切な相談や支援を受けられる社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
22 購入する食品の安全性又は信頼性に不安を感じない社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
23 岩手に移り住む人や岩手を訪れる人が増え、地域に活力が生まれていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
24 だれもが市民活動に参加できる社会であること。〔市民活動とは、NPO、ボランティア、自治会・町内会・汗ばか行等への参加、清掃や美化活動等を含む〕などの活動をさします。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	やや重要でない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
25 地域全体が一体となって若少年の健全育成に取り組んでいること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
26 女性も男性も社会のあらゆる分野に等しく参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会が実現されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(5) 次に、「教育・文化」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	やや重要でない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
27 学校が、学力や体力の向上などの目標に向かって、家庭や地域と一緒に取り組んでいること。〔学力向上とは、小・中学校では、授業をしっかり考える力が身に付き、高校学校では、目標達成を実現できる学力が身に付いていること。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
28 子どもたちの学力が向上する教育がされていること。〔子どもとは、小・中学校までをお考えください。〕	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
29 子どもたちが、自分の良さを知り、人を思いやる心を持つなど、人間性豊かに育っていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
30 子どもたちが、スポーツや運動に取り組むことによって、体力の向上や心身の健康の保持が図られること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
31 学校が、障がいのある子どもたちを含め、全ての子どもが共に学び共に育つ環境となっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)					
	重要である	やや重要である	やや重要でない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	やや不満足な状態にある	不満足な状態にある	わからない
32 学びたいと思った時に必要な情報が手に入り、自分に適した内容や方法で学ぶことができる環境にあること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
33 県内の大学などが、人材の育成や地域の企業との連携などにより、地域社会に貢献していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
34 郷土の歴史遺産や伝統文化に誇りや愛着を持てるような取組がされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
35 地域や学校などで文化芸術(芸術、祭り、行事など)の鑑賞や活動が活発に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
36 外国人に対する理解が進み外国人も暮らしやすい地域社会であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0
37 スポーツの国際大会や国内外の各種大会において本県選手が活躍していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0

(6) 次に、「環境」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
	38 地球温暖化防止のための環境にやさしい再生可能エネルギーの利用や省エネルギーなど二酸化炭素等の排出削減の取組が各地域で活発に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
39 ふだんの暮らしに、ごみの減量化やリサイクル(資源ごみの分別など)が定着していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
40 大気や水がきれいに保たれ、自然や野生動植物を大切にしながら生活していること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

(7) 次に、「社会資本・公共交通・情報基盤」に関する項目についてお伺いします。

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
	41 高速道路をはじめ、インターチェンジや新幹線駅、港、空港などの交通や物流の拠点に連なる道路が整備されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
42 防災施設の整備等が進み、地震や津波、洪水、土砂災害による被害を受けにくい、安心して暮らせる県土であること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
43 道路や下水道などの生活基盤の整備や歩道の経路解消等の地域のバリアフリー化が進み、快適に暮らせる生活環境になっていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		
44 道路や橋梁、河川、公園などの社会資本の維持管理が適切に行われていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

調査項目	あなたの重要度 (1つ選び、番号に○をつけてください)						あなたの満足度 (1つ選び、番号に○をつけてください)							
	重要である	やや重要である	ない	どちらともいえない	あまり重要でない	重要ではない	わからない	満足している状態にある	やや満足している状態にある	ない	どちらともいえない	やや不満な状態にある	不満な状態にある	わからない
	45 鉄道、バスなどの公共交通機関が維持・確保されていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0	
46 携帯電話やインターネットなどの情報通信ネットワークが暮らしや仕事に生かされていること。	5	4	3	2	1	0	5	4	3	2	1	0		

ここからは、あなたの行動についてお伺いします。

問3-1 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担についてお伺いします。
あなたは、大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか。

(あてはまるもの1つに○印)
1. 知っている 2. 知らない

問3-2 災害への対応についてお伺いします。
(1) あなたは、普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか。

(あてはまるもの1つに○印)
1. 準備している 2. 特に準備していない

※「1. 準備している」方は(2)へ
「2. 特に準備していない」方は、次の問3-3へお進みください

(2) (1)で「1. 準備している」と回答した方にお聞きします。
準備している内容すべてに○印を付けてください。

(あてはまるものすべてに○印)
1. 家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している
2. 地域で実施される防災訓練(注)に年1回以上参加している
3. 家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している
4. 家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的な対応(連絡方法、集合場所)などを話し合っている
5. 地域の自主防災組織に加入している
6. 家具などの転倒防止措置を行っている
7. 自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている
8. その他()

(注) 防災訓練：避難訓練や救助訓練などを含む訓練

問3-3 家事関連時間についてお伺いします。

この質問は、夫婦世帯の方のみ記入してください。それ以外の方は次の問3-4にお進みください。

(1) お二人とも職業をお持ちですか。
(あてはまるもの1つに○印)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 夫婦二人とも仕事をもっている | 2. 夫のみ持っている |
| 3. 妻のみ持っている | 4. どちらも持っていない |

(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。
以下の家事の種類ごとに、夫と妻を別に、1日当たりの家事労働従事時間を記入してください。(1週間の平均時間を目安にお答えください。)

(口内に数字を記入してください)

家事の種類	あなた (調査対象者)			あなたの夫(妻)		
	約	時間	分	約	時間	分
①食卓の用意・後片付け						
②掃除・洗濯						
③育児						
④介護・看護						
⑤買い物						
⑥その他()						

問3-4 地球温暖化防止への対応についてお伺いします。

あなたは、地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	運転しない
(回答例)「①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している」について、「2. ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3	
①冷暖房時の室温は適切な温度に設定している (冷房時 28℃以上、暖房時 20℃以下)	1	2	3	
②不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る	1	2	3	
③食事は好きずき食べるなど生ごみを減らす	1	2	3	
④火力調節を行うなど省エネを心がけて調理する	1	2	3	
⑤詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する	1	2	3	
⑥洗剤や食器洗いのときに水を流したままにしない	1	2	3	
⑦外出はできるだけ自動車の利用を控え、自転車や公共交通機関を利用する	1	2	3	
⑧自動車を運転するときに、少しゆるやかな発進や、加減速の少ない運転など燃費向上を心がけている(注)	1	2	3	4

(注) 自動車を運転しない人は「4. 運転しない」を選択してください。

問3-5 ごみの減量化への対応についてお伺いします。

あなたは、ごみの減量化なくため、普段どのような行動に努めていますか。
以下のそれぞれの行動の状況についてお答えください。

行動の内容	行動の状況は			
	だいたい実行している	ときどき実行している	ほとんど実行していない	
(回答例)「①買物のときは買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋は辞退している」について、「2. ときどき実行している」場合、2に○印をつける。	1	2	3	
①買物のときは買い物袋(マイバッグ)を持参し、レジ袋は辞退している	1	2	3	
②過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる	1	2	3	
③コンポスト(注)などにより生ごみを資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている	1	2	3	
④再生品(リサイクル商品)を積極的に購入している	1	2	3	
⑤使い捨て商品の購入を控えている	1	2	3	
⑥リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している	1	2	3	
⑦リサイクルショップを利用している	1	2	3	
⑧リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)	1	2	3	

(注) コンポスト: 生ごみを発酵させて堆肥にする方法

問4 県では、「私たちが実現していきたい岩手の未来」を創っていくため、「いって県民計画」(平成21年度～平成30年度)に掲げる「希望郷、わて」の実現に向けてさまざまな取組を進めています。
ここでは、いわて県民計画推進の基礎資料として活用するため、「人口減少問題」についてお伺いします。

問4-1 近年本県の人口は、減少を続けていますが、県は今後どのような施策を進めていくべきだと思いますか。特に重要だと思うものを1～11のなかから3つまで選んで番号に○を付けてください。

- 1 縁結びアドバイザーの設置などにより、結婚を支援すること
- 2 妊産婦ケアセンターの設置や不妊治療助成金の拡充などにより、妊娠・出産を支援すること
- 3 育児アドバイザーの設置や子育て講座の開催などにより、子育てに必要な情報提供すること
- 4 事業所内保育施設の設置支援などにより、保育環境の整備を進めること
- 5 税制上の優遇措置などにより、子育て世代の経済的な負担を軽減すること
- 6 企業等におけるブランド化の支援や、大学発のベンチャー企業の創設支援などにより、若者に魅力ある企業づくりを進め若者の地元定着やUターンを促進すること
- 7 企業見学会の実施や、父母等への県内企業の情報提供などにより、県内企業の採用活動の支援を進め若者の地元定着やUターンを促進すること
- 8 同郷会等を活用したPRや、若手ならではの暮らし方の情報提供などにより、岩手の魅力の情報発信を進めUターンを促進すること
- 9 体験型観光や、学生インターンシップ制度(農業体験、伝統芸能等)などにより、交流・移住の体験を進め移住を促進すること
- 10 移住についての相談窓口体制の強化や、移住者の交流の場の創出などにより、移住者の支援を進め移住を促進すること
- 11 その他()

問4-2 ここからは、あなたの、今後の居住地について、おたずねします。

(1) あなたは、5年後に居住地が異なる可能性はありますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○を付けてください。

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1 5年後に居住地が異なる可能性が、 大いにある | 引き続き、次の問にお答え願います |
| 2 5年後に居住地が異なる可能性が、 ある程度ある | |
| 3 5年後に居住地が異なる可能性が、 あまりない | |
| 4 5年後に居住地が異なる可能性が、 まったくない | ⇒ 問5 (21ページ)へお進みください |

(2) 5年後に居住地が異なる可能性がある(1、2、3のいずれか)とお答えの方にお聞きします。
あなたが、転居予定先として考えられるのは、次のうちどれですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○を付けてください

- 1 現在と同じ市町村内
- 2 現在の市町村とは違う県広域圏(盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町)
- 3 現在の市町村とは違う県広域圏(花巻市、北上市、瀧野市、一関市、奥州市、西和賀町、金ケ崎町、平泉町)
- 4 現在の市町村とは違う沿岸広域圏(宮古市、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村)
- 5 現在の市町村とは違う県北広域圏(久慈市、二戸市、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町)
- 6 岩手県外(外国を含む)

(3) 5年後に居住地が異なる可能性の主な理由(注)は何ですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○を付けてください。

(注)主な理由が、あなた以外の方の要因である場合は、その要因をお答え願います。

- 1 入学・進学
- 2 就職
- 3 転職
- 4 転勤
- 5 家業継承
- 6 定年退職
- 7 住宅事情
- 8 生活環境上の理由
- 9 通勤・通学の便
- 10 親との同居・近居
- 11 子との同居・近居
- 12 結婚
- 13 子育て環境上の理由
- 14 健康上の理由
- 15 その他()

アンケートに回答した方(あなた)について伺います。

問5 最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、該当する番号に○をつけてください。

(1) 性別(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

(2) 年齢(満年齢)(○は1つ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20～29歳 | 2 30～39歳 | 3 40～49歳 |
| 4 50～59歳 | 5 60～69歳 | 6 70歳以上 |

(3) あなたの主なご職業は何ですか(○は1つ)。

- 1 自営業主
- 2 家族従業者
- 3 会社役員・団体役員
- 4 常雇雇用者 ※期間を定めず又は1年を超える期間を定めて雇われる人
- 5 臨時雇用者(パート、アルバイトなど) ※日々又は1年以内の期間を定めて雇われる人
- 6 学生
- 7 専業主婦(主夫)
- 8 無職
- 9 その他(具体的に:)

※ (3)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

その業種は何ですか(○は1つ)。

- 1 農業、林業
- 2 漁業
- 3 鉱業、採石業、砂利採取業
- 4 建設業
- 5 製造業
- 6 電気・ガス・熱供給・水道業
- 7 情報通信業
- 8 運輸業、郵便業
- 9 卸売・小売業
- 10 金融業、保険業
- 11 不動産業、物品賃貸業
- 12 学術研究、専門・技術サービス業
- 13 宿泊業、飲食サービス業
- 14 その他のサービス業
- 15 公務
- 16 その他(具体的に:)

(4) あなたの世帯構成はどのようになっていますか(○は1つ)。

- 1 ひとり暮らし
- 2 夫婦のみ
- 3 2世代世帯(親と夫婦、夫婦と子どもなど)
- 4 3世代世帯(親と夫婦と子ども、夫婦と子どもと孫、祖父母と親と夫婦など)
- 5 その他

(5) あなたのお子さん、何人いますか(同居・別居は問いません)。

- | | | |
|------|--------|-----------|
| 1 1人 | 2 2人 | 3 3人 |
| 4 4人 | 5 5人以上 | 6 子どもはいない |

※ (5)で1～5に○をつけられた方のみお答えください。

あなたのお子さん、次のどこにあてはまりますか(該当する番号すべてに○をつけてください)。

- 1 小学校入学前(乳幼児を含む)
- 2 小学生
- 3 中学生
- 4 高校生
- 5 高校を卒業し専門学校、短大、大学、大学院に在学
- 6 学校教育終了で同居
- 7 学校教育終了で別居
- 8 その他(具体的に:)

(6) あなたは岩手県に住んで何年になりますか(○は1つ)。

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年未満 | 3 5～10年未満 |
| 4 10～20年未満 | 5 20年以上 | |

(7) あなたが現在お住まいの市町村はどこですか(○は1つ)。

県央地域	1 盛岡市	2 八幡平市	3 滝沢市	4 雫石町	5 葛巻町
	6 岩手町	7 紫波町	8 矢巾町		
県南地域	9 花巻市	10 北上市	11 瀧野市	12 一関市	13 奥州市
	14 西和賀町	15 金ケ崎町	16 平泉町		
沿岸地域	17 宮古市	18 大船渡市	19 陸前高田市	20 釜石市	21 住田町
	22 大槌町	23 山田町	24 岩泉町	25 田野畑村	
県北地域	26 久慈市	27 二戸市	28 普代村	29 軽米町	30 野田村
	31 九戸村	32 洋野町	33 一戸町		

御協力ありがとうございました。

お手数でも2月2日(月)までに郵便ポストへ投函くださるようお願いいたします。